

投資家の皆様へ

平成 23 年 1 月 14 日

S B I アセットマネジメント株式会社

S B I インド&ベトナム株ファンド

「年初来のインド株式市場の下落及び基準価額への影響について」

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は S B I インド&ベトナム株ファンド（以下、「本ファンド」）をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。年明け以降のインド株式市場の下落に関する要因と今後の見通しについてご説明させていただきます。

1. 市場動向

2011 年の年明け以降、インド株式市場はインフレ圧力の高まりなどの要因から下落する展開が続いており、インドの代表的株価指数である SENSEX 指数の 1 月 13 日終値は 19,182 ポイント（対前営業日比▲1.8%、年初来で▲6.5%）まで下落しました。

2. 本ファンドの状況

年明け以降のインド株式市場の変動を受けて、本ファンドの 13 日の基準価額は年初来で▲1.1%下落しました。本ファンドにつきましては、インド株式市場が割高であると判断し、12 月初旬から売却時期を分散させながら徐々に株式の組入比率を低下させており、今回のインド株式市場の下落に対する本ファンドの基準価額への影響は軽減されています。具体的には、本ファンドの 2010 年 11 月末時点のインド株式組入比率は 87.2%（現金比率は 3.0%）でしたが、2011 年 1 月 13 日時点のインド株式組入比率は 66.8%まで低下しています（現金比率は 22.9%まで上昇）。

3. 市場が下落した要因等

本ファンドのマザーファンドの 1 つを運用するステイト・バンク・オブ・インディアの運用担当者は今回のインド株式市場が下落した主な背景と要因に関して、以下のようにコメントしています。

- ・ **インフレ圧力が高まっています**：原油、商品価格が高騰し、過去 2 年間の最高値となっています。食料品のインフレ率は 18.3%まで上昇しています。そのため、今後も金利の引上げ懸念が高い状態が続いています。

1

○本資料は、S B I アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

- ・ 一方、銀行の調達コストが上昇し、国内の資金流動性が逼迫しています：銀行の1年物の資金の調達コストは、年利9.5%と1年間で3%上昇しており、銀行の利鞘が縮小しています。資金需要は旺盛なことから国内の資金流動性の逼迫が継続しています。
- ・ 一連の不正疑惑、汚職事件等により投資家心理を悪化させています：手抜き工事の発覚、携帯電話の電波ライセンス売却に絡む汚職事件、不動産融資の不正発覚などの事件により、株式市場への信頼性が揺らいでおり、投資家心理が悪化しています。
- ・ 海外投資家の資金の流出が起きました：2010年にインドには290億ドル超の資金流入があり、この額は、日本と中国を除くアジアへの資金流入の約50%に相当します。この海外投資家の大量の資金流入により2010年はインド株式市場が上昇しました。しかし、他の新興国より割高水準まで買われたこともあり、2011年に入り6日までの4日間で、海外ファンドの資金だけで約5億5千万ドルの資金が流出しました。

4. 今後の見通し

上記の要因により、今後しばらくは、インド株式市場は変動率が高く、不安定な状態が続くと想定されます。

本ファンドのマザーファンドの1つを運用するステイト・バンク・オブ・インディアの運用担当者は今後の見通しに関して、以下のようにコメントしています。

2011年は前後半の2つの部分から成る1年となる可能性が高いということです。前半は市場のパフォーマンスが鈍化し、後半は力強い回復となるでしょう。インドの成長に対する逆風（商品価格の上昇、流動性の逼迫や政治不安が継続していること）が2011年の前半2四半期において最も強くなることが考えられます。しかし、2011年の後半は、これらの逆風の多くは緩和されると我々は予測しています。

今後も、適時適切な運用を行なって参る所存です。何卒、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

《本ファンドのリスク》

本ファンドは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、株式などの値動きのある証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、その信託財産の価値が下落し、その結果、本ファンドが大きく損失を被る場合があります。したがって、本ファンドは元本保証されているものではありません。

本ファンドの主なリスクは以下の通りです。

●価格変動リスク

本ファンドは、マザーファンドを通じて主にインド、ベトナムの株式（株価連動債を含みます。）に投資を行います。投資を行う株式の大幅な価格変動等があった場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。その他、カントリーリスクに伴う価格変動については、「カントリーリスク」の項をご参照ください。

●為替変動リスク

マザーファンドは外貨建資産を保有し、マザーファンドおよび本ファンドは原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国や投資対象資産の通貨（インドルピー、ベトナムドン、米ドル、英ポンド等）と円との外国為替相場が円高（現地通貨安）となった場合には、基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

●信用リスク

本ファンドが実質的に投資対象とする企業の経営等に直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

●カントリーリスク

マザーファンドの投資対象株式発行体が所在する国々は、金融市場や政情が不安定であることから、金融市場や政情に起因する諸問題が株価や通貨に及ぼす影響は先進国の場合より大きくなる場合があります。また、それらの国々における株式・通貨市場は規模が小さく、流動性が低い場合があり、結果としてそれらの市場で取引される株式・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。さらに、それらの諸国においては、政府当局が一方的に規制を導入したり、政策変更を行うことによって証券市場が著しく悪影響を被ることがあります。また、証券取引所、会計基準、法規則等に関する制度が先進国市場とは異なる場合があります。運用上予期しない制約を受けることがあります。この場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

●流動性リスク

大量の売買および市場の外部環境に急激な変化があり市場規模の混乱や縮小があった場合、市場で取引ができず、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。この場合、本ファンドの基準価額は影響を受け、大きく損失を被ることがあります。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

●投資方針の変更について

投資環境の変化および投資効率等の観点から、投資対象、投資手法、およびマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託先の変更を行う場合があります。

●その他のリスク、留意点

その他予測不可能な事態（天変地異、クーデター等）が起きたときなど、市場が混乱することが考えられます。この様な場合に、証券取引所の取引停止等やむを得ない事情があるときは、一時的に本ファンドおよびマザーファンドが換金できないこともあります。また、これらの事情や有価証券の売買にかかる代金の受渡しに関する障害や、コンピューター関係の不慮の出来事が起きた場合などには、本ファンド換金代金の支払いが遅延することや、一時的に本ファンドおよびマザーファンドの運用方針に基づいた運用が出来なくなるリスクがあります。

※ 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

《お客様に直接・間接にご負担いただく費用等》

（お買付時に直接ご負担いただく費用）

● お買付手数料

お申込日の翌営業日の基準価額に 3.15%（税抜 3.0%）を乗じて得た額を上限とします。

（途中解約時に直接ご負担いただく費用）

● 信託財産留保額

解約申込日の翌営業日の基準価額に 0.3%の率を乗じて得た額

（保有期間中にファンドが負担する費用（間接的にご負担いただく費用））

● 信託報酬

純資産総額に対して年率 2.1%（税抜 2.0%）

● その他の費用

監査費用、有価証券売買時に係る売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差し引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

● インド株式における税金および費用（マザーファンドが負担します）

インド株式への投資部分に対してはインドの税制にしたがって課税されます。インドにおいては非居住者による 1 年を超えない保有有価証券の売買益に対して 15%のキャピタル・ゲイン課税が、さらに当該売却益に対してその他の税（以下、あわせて「キャピタル・ゲイン税等」といいます。）が適用され、キャピタル・ゲイン税等の実効税率は 15.83625%になります。また有価証券の売買時に売買代金に対して 0.125%の有価証券取引税が適用されます。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

(2010年12月現在) マザーファンドはインドにおけるキャピタル・ゲイン税等の計算に当たり、現地の税務顧問を使用しますので、当該税務顧問に対する費用が発生します。これらの税金および費用は信託財産から差し引かれます。

《投資信託ご購入の注意》

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書（目論見書）をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、および一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。



商号等 S B I アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 311 号

加入協会 社団法人投資信託協会、
社団法人日本証券投資顧問業協会

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書（目論見書）の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。